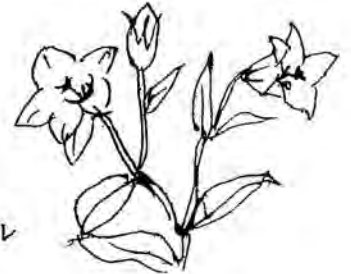


# 奈良・人と自然の会

## 柳生街道（剣豪の里）に参加して

八尋 ハル



9月21日（火）朝一番気掛かりな空模様を確認、前日の天気予報はずれたようです。野山歩きは少々暑くてもやっぱり天気の方がいいですね。

総勢16人で忍辱山バス停を出発。急斜面の杉林を見上げながら、下刈りと間伐の必要性の説明を聞き、つづいて竹藪の定義を教えてくださいました。ボランティアで伐採作業をされている奈良ネイチャーの方々の思いを強く感じました。

雑木林をぬけ白砂川を下に見、田園にでてスルボ、ノダケ、ヒヨドリバナ、昔話につながるゲンノショウコなど秋の野草を観察しながら夜支布山口神社に到着。この神社は春日四殿の中のひとつで春日大社造替時の木材などがあちこちに使用されているとのことでした。参道の檜は檜皮を剥いだ後で、スルットして赤茶色の木肌を見ただけではそれとはわかりません。10年後でないとなつぎの檜皮はとれないそうです。

昼食の後、南明寺の仏像3体を拝観、お藤井戸を経て、阪原峠を一気に上り疱瘡地藏の立て札にほのぼのした気分になり、見事な石塀と白壁の家老屋敷横を急いで通りすぎ、八坂神社に今日がよい一日だったことに感謝し手合わせコース終点となりました。

今回の観察会で特に記憶に残った草木は次の通りです。

- ①果実から地図記号がデザインされたチャ（茶）
- ②蔓が上へ上へのびてゆき夏以降は下にぶら下がって地面に降りてやがて根つく不思議なキカラスウリ
- ③令法と書く由来のリョウブ
- ④何故こんな名がついたのかベニバナボロギク
- ⑤一輪だけ咲いていたので来年みられるかどうかと心配したけれど最近分布を広げているタカサゴユリ

一方で、観察出来なかった秋の七草であるキキョウ、オミナエシが年々減少している現実には寂しいです。飛び入り参加を快く迎えてくださった皆様有難うございました。奈良は歴史あり、原始林ありで興味が尽きません。静かな佇まいの大柳生の里も脳裏に深く焼きつきました。

阪原峠で見たコシアブラが黄葉する頃にもぜひ訪れたいものです。

本日の教訓：「最後まで気をゆるめないこと。君子は危うきに近寄らず??でした」

残暑にうだる15日と、彼岸に入ったものの尚厳しい20日の両日、森林整備作業に参加しました。7・8月は天候不良や体調不良で参加を見合わせましたが、9月に入り気分も新たに再挑戦しました。

ヘルメットの緒を締め、足元を作業用脚絆でしっかり固め、右の腰にノコギリ、左の腰にはナタをベルトで吊るせば気分はすっかり一丁前のウッドマン(樵)。

日頃、変わり様のない自分にうんざりしている己が身の深層に潜む変身願望が叶えられる一瞬であり、また自分が輝く(?)一瞬でも有ります。何と単純な!!

そう、単純なのです。見捨てられた暗い植林を間引き、森を明るくし植生豊かにする作業は決して難しいものでは有りません。

樹にノコやナタを入れた後は樹との取っ組み合いです。押したり、ロープで引っ張ったり。倒した樹の枝を払い、幹はズン胴切りにして一ヶ所に集め墓を作ってやります。

伐木はやがて腐朽し腐植土となり、恵みの雨を一杯吸ってフワ〜の林床をつくります。

明るくなった森に昆虫が増え、それを追って鳥がやって来ます。鳥や風が新しい樹木の種を運んできてやがて色々な仲間が増え豊かな森となり、環境問題にも貢献してくれます。

勿論、こうした事は一朝にして成るものではなく何年、何十年もの遷移を待たなくてはなりません。しかし、日頃あくせく目先の事に忙しい我が身には、何十年も先の事に汗を流すと言う事が何か大変贅沢な事のように思えてしまいます。

流した汗の量が、森に呼び込む陽光と風の量に比例するかと思うとつい〜歳も忘れて頑張ってしまった。

これまで半年あまり、リーダーの寺田さんや参加者の熱心な作業のお陰で整備対象範囲1.5ヘクタールの内、円成寺から滝坂の道に通じる東海自然歩道沿いの0.5ヘクタール余が見違えるように明るく整備されました。当初の不慣れや酷暑を考え合わせると感慨深いものがあります。しかし、本格的な作業はむしろこれから。未整備な領域が我々の手を待っています。

やらねばならない作業(間伐等)や、やりたい作業(現状の植生調査{将来の変貌との比較基礎データ作り等})が多いのに人手が少し足りないようです。

季節は本格的な秋。山よし、里よし、森も良しです。是非一度森林浴を兼ねて作業現場を覗きに来て下さい。新しい仲間と森でお会い出来るのを楽しみにしています。

そして一緒にヘンシーンしようじゃないですか!



市村米子

旅人 男2名 女2名 潮の満ち干きが最大になる大潮の日、しかも潮が引ききる数時間だけに一斉開花するというこの不思議な神秘に満ちた植物 ウミショウブを求め日本最大の亜熱帯原生林西表島に、気の合う仲間と旅に出ました。

2月9日 テレビで放映されましたが、ウミショウブの祖先は元々陸に生えていましたが1億年を掛け海の中で生きていけるように進化したのです。

7月14日

バスチケットも利用することが出来、一路飛行機で石垣へ。

そこから船で西表へ渡り、まずは宿泊場所である干立(星立)にあるコテージ イルンティフタデムラ(方言で西表干立村)に向かう。

赤瓦屋根に広い空間、炊事や洗濯 OK、

1棟丸ごと貸しきりというなんとも贅沢な宿泊所で4連泊する。夕食は近所に住まいするおばあの沖縄手料理、コウトウシュウカイドウの天麩羅 天然モズク うまい！(おばあといっても私たちと歳は変わらないのだが)

7月15日

朝はリュウキュウアカショウビンのキョロロロの鳴き声で目覚め、朝食はスーパーで買い込んだパンや果物。弁当を持ってピナイサーラの滝に向かう。(実は今回で西表には6回目、この滝も昨年下見済み) キノボリトカゲの愛らしい顔つきやオオゴマダラにキャアキャア言いながら約2時間登りつめ、ピナイサーラの滝(白いひげという意味)の落ち口に着く。滝は下から見上げるのではなく上から見下ろす物なの?? 落差55m、水しぶきをあげて流れ落ちるのを怖々腹ばいになって覗き込む。下の滝壺で遊んでいる若者に「オーイ」と叫ぶと、手を振って答えてくれた。スーパーで買ったお弁当を開いたら突然、バシャバシャバシャ スコールだ。ご飯もおかずも汁漬けならぬ雨付け?になる。

7月16日

さあ今日はマリンスポーツを楽しむぞ! 3名はダイビングの経験はあるが1名は初体験 水着にシュノーケルと救命胴衣を装備し、可愛い今人気のクマノミや色とりどりのサンゴ島に見とれながら海中散歩。始めはしっかり私の手を握り締めて放さなかったMさんだが、終わりの頃は余裕でスイスイ。この次はダイビングに挑戦するのでは? 船上では甘酸っぱい良く冷えたマンゴーがサービスされたり、陸続きでありながら船でしか渡る事が出来ない船浮に立ち寄りつたりのクルージングを1日楽しみました。



7月17日

以前からお世話になっている琉大熱帯生研の石垣長健先生に島の案内をしていただく。遊覧船に乗り込み、オヒルギ・メヒルギのマングローブが生い茂る浦内川の説明に耳を傾け、川面に落花したサガリバナ（夜に咲き始め夜明けとともに散ってしまう）の幻想的な光景にうっとり浸っていると突然、先生が船の舳先からドボン飛び降りたのだ。訳もわからず先生の後に続けとあわてて飛び降りた。ズボンも靴もビショビショ、そんな事はおかまいなしで先生は島の道とは言えない路にズンズン入っていく、「船着場が無いからしかたがないか」と納得し、「クワズイモは毒だがハブクラゲに刺された時は薬になる」「ヒカゲヘゴも食べられる」など自然との共生の中で島の人々が見につけた知恵や慣わし、言い伝えを教えていただき色々な食べられる草や木を「パーミィートーリョウ」（私の分を分けて下さい）と自然の神々のゆるしを得て取らせてもらい持ち帰た。

途中、国の天然記念物のセマルハコガメがのんびりお散歩しているのに出くわす。

いよいよウミショウブだ。潮の引きも良い、皆腰までつかりながら海に入っていく、何処だ何処だ？ 海のそこから白い花が次々と浮かび上がり、何千万という花が海面を埋め尽くす筈だが・・・白い花は見当たらない??? 残念!!! 今回は時期が少しずれたのか 生き物なのでこういうことも仕方ない。又の楽しみとしよう。

今日の夕食はおばあ料理ではなく先生ご夫妻による手料理。先ほど頂いてきた食材も色を添えているが、先生がしとめ大事に保存してあったリュキュウイノシシの刺身が振舞われ、なによりも美味しかった。勿論オリオンビールに泡盛は言うまでもない。先生が丹精こめて育てた早くも新米のもち米（黒紫米）も美味しい。お土産に持たせても下さった。先生のお仲間も参加され夜遅くまで賑やかなこと。

今回も暖かい島の人々や文化・暮らしに触れ 亜熱帯の動植物との出会いや感動をいっぱい感じた旅でした。ウミショウブには再挑戦したいものです。



## 地域情報



### ・平城宮跡水上池

9月15日ヨシガモ2羽

17日にはハシビロ1羽を見ました

エクリプスのためオスメス不明

(小田)

### ・竜田公園

9月初旬アメリカハナミズキの実赤く色付く (勝田)

9月28日。モズ4羽 (♂2・♀2)、50~100m間隔でアンテナや木の梢で鳴いていた。ツバメ2羽を含む11種の鳥に出会う。(勝田)

おたより  
来ています





【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場 所〉 奈良市忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分）  
 淀川、木津川、白砂川の源流域

〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）

〈日 時〉 10月 5日（火） 11時20分 第13回  
 10月24日（日） 9時50分 第14回  
 11月 9日（火） 10時30分 第15回  
 11月23日（祝） 9時50分 第16回

（9時20分にはスタッフは駐車場に居ります）

終了は3時頃の予定です。

〈交 通〉 奈良交通バス [邑地中村行き] 柳生方面

	JR奈良駅③番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
	8:26	8:29	9:02
10/5	10:40	10:43	11:16
10/24	9:00	9:03	9:36
11/9	9:40	9:43	10:16
11/23	9:00	9:03	9:36

奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）・手袋・スパッツ・鋸・弁当・飲み物他  
 用具は当会にて多少は用意しております。

●作業中は長袖シャツを着用して下さい。

《未経験者には基本より指導致しますのでお気軽に》

【お願い】 植物・生物の調査をして頂けませんか。

〈連絡先〉 弓場厚次  
 阿部和生  
 寺田正博

《作業進行状況》

9月20日作業終了時で総面積の約1/3 0.5%の整備が終わりました。  
 林床に太陽光が入り明るい森林になりました。来春以降の樹木の成長、林床植物、  
 生物の多様性が楽しみです。

作業は伐木だけではなく、林床の整備等種々の作業、調査などがあります。  
 是非、皆様のご参加をお待ちしております。



ネイチャーなら  
奈良・人と自然の会

10月度例会 秋の明日香路を・・・

～秋・たけなわの明日香路をオリジナルコースで散策～

石の文化と明日香の自然！！何時行っても心癒される明日香へ気軽にお出かけください。

<日時> 10月21日(木) AM10:10

<集合場所> 近鉄飛鳥駅前

近鉄あべの駅発 9:20(急行)→ 飛鳥駅着 10:05

近鉄西大寺駅発 9:21(急行)<橿原神宮駅乗り換え>→飛鳥駅着 10:05

<コース> 飛鳥駅前→公園館→中山古墳→朝風峠→稲淵→マラ石→石舞台→橘寺→  
亀石→鬼の雪隠→猿石→飛鳥駅

<天候> (気象警報発令時のみ中止)

<持ち物> 弁当・水筒・観察用具・雨具 歩きやすい服装でご参加ください

<担当> 樋口 善雄



ネイチャーなら  
奈良・人と自然の会

第1.2回 東海自然歩道・自然観察会

昨年10月、第二回シリーズとして「曾爾高原」からスタートした東海自然歩道・自然観察会も12コースを一本の道としてトレースし、今回「笠置山古道」でエピローグを迎えました。剣豪の里「柳生」から後醍醐天皇ゆかりの地「笠置山」に向います。

<コース名> ⑫ 笠置山古道 [7km]

<日時> 10月27日(水) 9時30分 集合

<集合場所> 近鉄奈良駅 行基菩薩像前

\* 近鉄ナンバ(奈良行快急) 8:51発...鶴橋 8:57...西大寺9:23...近鉄奈良9:28替

\* JR奈良駅経由の方: 奈良交通バス・JR奈良駅③番乗場利用可

<行程> 近鉄奈良駅...柳生～笠置寺～JR笠置駅...JR奈良駅

<担当> 樋口善雄 寺田正博 弓場厚次



## 【いこま棚田クラブ】

(教育実習認定行事) 定員 10名

職産生の方はアシスタント経由お申し込みください。

### いこま棚田クラブ

生駒棚田通信

今年より復活に挑戦した三角田の稲刈りをしました。  
いこまの棚田の植生調査をします。(10/1)  
マスコミの取材がありました。記事が楽しみです。  
(毎日新聞社・総合情報誌 月刊奈良)



- ・棚田の雑木林にネイチャートレイル(自然散策路)を作ろう。  
(教育実習として参加者が6名以上集まった時に、常緑樹の整理伐、玉きり、階段作りを継続して行う。)
- ・いこまの棚田の植生調査をします。(いこま棚田クラブ・自然と文化研究科合同 10月1日(金))
- ・いこま棚田クラブの活動が注目を浴びています。  
取材(インタビュー)がありました。毎日新聞社及び月刊奈良(奈良県唯一の総合情報誌)

- ◆10月活动日 第66回 10/3(日) 第67回 10/11(月) 第68回 10/17(日)  
第69回 10/25(月) 第70回 10/31(日)
- ◆11月活动日 第71回 11/7(日) 第72回 11/15(月) 第73回 11/21(日)  
第74回 11/29(月) ※シニア自然大学高等科実習 11/23(火)

【注意】11月は曜日の関係で月曜日が変更になっています。(第3、5月曜日)

(集合時間をセブンイレブン前 9:00としていますが9:30発もありますので無理な方は申し出て下さい)

- ◆集合場所 近鉄生駒駅下車(生駒駅より快速15分)南口側ケーブル駅 西隣りセブンイレブン前  
集合時間 9時00分 現地まで車で移動(15分)
  - ◆持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈り鎌(有る人)
- お願い: 生駒駅からは車で移動します。参加者は事前にtelまたはfaxで下記までご連絡願います。  
事務局 大寺道

## 【黒髪山 C/F】

### 「黒髪山自然塾」への参加を!

今回はツタを使ったリース作りの指導で参加します。リース作りの初心者の方は、午前中に別途教習の場を設けますので、スタッフとしてご参加ください。

- 〈日 時〉 10月24日(日) 9時30分集会広場集合
- 〈場 所〉 奈良市奈良坂町黒髪山キャンプフィールド
- 〈交 通〉 近鉄奈良駅バス停(高天交差点北)13番乗り場  
高の原行9:09発 加茂駅方面8:48、9:09発  
黒髪奈保町下車。ゴルフ練習場の北側の坂道を登り、二差路を  
サイクリング道路に沿って進む。15分。
- 〈対 象〉 ボーイスカウト・ボーイ・保護者・リーダー
- 〈持ち物〉 水筒・軍手・汚れてもよい服装・花きり鉋  
おにぎり(きのこシチューが戴ける予定)
- 〈お願い〉 ご参加いただける方は緊急連絡の都合上10月16日(土)までに  
下記担当へご連絡ください。
- 〈リーダー〉 西谷 範子氏
- 〈担当〉 樋口 善雄 氏



## 2004年9月度 定例幹事会報告

1. 日 時: 平成16年9月3日(金)PM 5:30~8:30
2. 場 所: 奈良県女性センター
3. 司 会: 寺田 書記: 小山
4. 出席者: 川井、樋口、弓場、寺田、大寺、阿部、大石、境、三木、古川、小田、小山 12名 (欠席: 豊島、勝田)
5. 議 事

### 【報告事項】

- ① 会員動向 88名(入金済)17名(未入金) 会計報告 残金 188,854円
- ② 8月度例会「吉野・十津川村 自然観察会」8/23~24 参加者 27名 玉置山を訪ね「昂」の里に1泊
- ③ なら・忍辱山森林整備作業 8月度は11日4名、28日7名、参加して実施 間伐は南斜面上方迄ほぼ完了し、全体の1/3~1/4完了した事になり順調に進行中
- ④ 「いこま棚田クラブ」8月例会4回実施、自然文化科も参加、27日は田中敦夫先生を呼んで講演会を開き盛況、人員不足が気になる、9月は予定通り 1、3、日曜日、2、4土曜日に実施
- ⑤ その他
  - 1) 奈良生協依頼で「奈良・人と自然の会」として工作指導をした
  - 2) 会員の木製名札と「奈良・人と自然の会」のゴム印を作った

### 【討議事項】

- ① 各行事の性格付け  
「奈良・人と自然の会」が主催する行事、と他の組織、団体からの委託行事を区別をすること他からの委託行事は「協力作業」とする
- ② ボランティア活動保険に就いて会報8月号9月号にて適用範囲等記載有り

### 【その他】

- ① 9月、10月の行事予定の確認

9月21日(火)	東海自然歩道・自然観察会「柳生街道」	担当 阿部・他
9月22日(水)	9月度例会「仏隆寺(彼岸花)から室生寺」	大寺・小田
9月15日(水)、9月20日(月、祝日)	なら・忍辱山森林整備作業	寺田・他
10月21日(木)	10月度例会「飛鳥」自然観察会	樋口
10月27日(木)	東海自然歩道・自然観察会「笠置山古道」	樋口・他
10月5日(火)、10月24日(水)	なら・忍辱山森林整備作業	寺田・他
11月9日(火)、11月23日(火、祝日)	なら・忍辱山森林整備作業	寺田・他
- ② 8月度提案の当会のPR用パンフレットの作成は検討中
- ③ 会報に当会の目的を書き込んだら如何かと提案有り 以上

編集後記: \*記録的な熱帯夜からやっと解放され、昼夜の気温差も大きくなってきました。  
毎日の早朝散歩で出会う鳥たちの数も急に増えてきました。その敏感さに驚か  
されます。私たち人間も自然の変化に合わせて気を付けねばと考えています。  
\* 1~2行の地域情報の記事をお待ちしていますのでよろしくお願いします。

編集担当: 勝田 均

Tel&Fax:

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫